

サッカー元日本代表の鈴木啓太が社長、アスリートの腸内環境を研究する「AuB(オーブ)」

腸活でeスポーツ分野に参入、選手をサポート

サッカーeスポーツの東アジア王者「Blue United eFC」と契約締結

サッカー元日本代表の鈴木啓太が社長を務める、アスリートの腸内細菌を研究する「AuB(オーブ)(株)」（東京・中央区）は、腸内環境の解析をもとに、eスポーツ選手の健康管理や能力向上に生かす取り組みを開始します。

当社はこれまで、サッカーや野球など一般的なスポーツのプロ選手らの腸内環境を解析し、健康管理に役立ててもらおうコンディショニングサポート事業を展開してきました。高い集中力と試合を勝ち抜く体力などが要求されるeスポーツでも、そうした知見が生かせると判断。今後は研究領域をeスポーツにまで広げ、選手の健康に寄与していく考えです。

eスポーツ分野への参入第一弾の取り組みとしてこの度、プロeスポーツチームの「Blue United eFC(ブルー ユナイテッド イーエフシー)」と、所属選手の健康サポートで提携しました。契約期間は2022年3月31日(木)までの約1年間です。当社がプロeスポーツチームと協業するのは、今回が初めてです。

腸内細菌や食事など、4つの視点でコンディショニングをサポート

「ブルー ユナイテッド イーエフシー」とはパートナー契約を締結し、所属選手2人のコンディションを腸内から整える取り組みを行います。

具体的には、「腸内細菌」「免疫力」「食事」「睡眠・疲労」の4つの視点でコンディショニングに寄与します。

まず、選手の便検体から腸内細菌の種類や量、割合を解析します。その結果を、IgAという免疫に関わる物質の数値や心拍および睡眠などの健康関連データ、日々の食事内容の記録と照らし合わせ、相関関係を調べます。疲労度の指標として用いるIgAの数値は、唾液検査で測ります。健康関連データの取得は、ウェアラブル端末を活用します。

こうして腸内環境の問題点をあぶり出し、例えば食事指導による腸内環境改善で、「睡眠」や「疲労回復」といった選手の抱える課題の解決を試みます。腸内細菌の解析は当社が行い、栄養サポートも管理栄養士や公認スポーツ栄養士などの資格を持つ社員(AuBアスリートサポートチーム)が担います。解析から具体的なサポートまで一貫して支援します。

本契約は、「アスリートの腸を整えることでコンディションを維持し、パフォーマンス向上に役立ちたい」という当社の考えに「ブルー ユナイテッド イーエフシー」が賛同し、締結に至っています。



サッカーeスポーツの東アジア王者、BLU eFC所属の「アグ選手」(左)、「つあくと選手」(右)。写真は、2020年に開催されたeスポーツチームの世界王者を決定する「FIFA eクラブワールドカップ2020」

AuBでは、2選手の腸内細菌を改善しながら、万全の状態ですべてに臨める体作りをサポートします



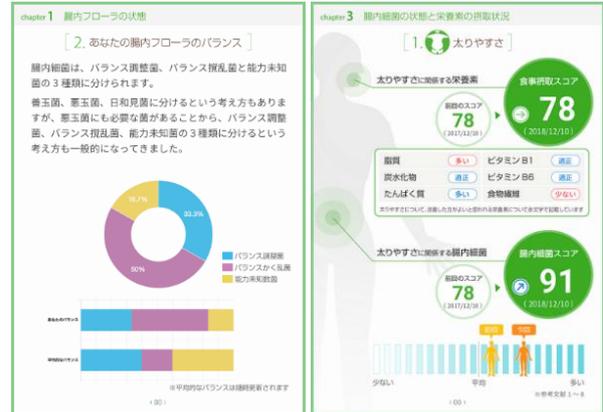
選手に腸活サプリ、プロテインの提供も

パートナー契約の期間中、腸内環境のベースを形成するサプリメント「AuB BASE(オーブ ベース)」と、“筋肉と腸と栄養の関係”に着目したプロテイン「AuB MAKE(オーブ メイク)」を選手に提供します。双方の摂取で、コンディションの土台となる「腸」を整えていただきます。

また今回のパートナー契約の一環として、チームが試合中に着用する公式ユニホームに当社 AuB のロゴを掲出します。



アスリートの研究結果から誕生した、腸内環境のベースを形成するサプリメント「AuB BASE」(左)と、筋肉と腸と栄養の関係に着目したプロテインの「AuB MAKE」(右)



選手の腸内環境の解析には、便から腸内細菌を検査できる当社の専用キットを活用しています。(画像: AuB の腸内環境検査キットの結果レポート)

「Blue United eFC」概要

名称	Blue United eFC(略称:BLU eFC)		
設立	2018年11月15日		
運営	Blue United Corporation		
HP	http://www.blueutd.com/efc/		
ビジョン	日本のeスポーツ産業が世界トップレベルになるためにその発展と国際化に貢献する。		
所属選手	つあくと選手(本名:佐藤 翔太)		
2021年の主な実績	FIFAE Club World Cup 2021 Zone 2 (East Asia) オンライン予選 優勝		
	FIFAE Club World Cup 2021 Zone 2 (East Asia) 優勝 / アジアチャンピオン EA SPORTS FIFA 21 Global Series East Asia Qualifier2 準優勝		
	アグ選手(本名:中島 奨)		
	FIFAE Club World Cup 2021 Zone 2 (East Asia) オンライン予選 優勝		
	FIFAE Club World Cup 2021 Zone 2 (East Asia) 優勝 / アジアチャンピオン (サッカーe 日本代表歴)		
	2020年、2021年 サッカーe 日本代表		

「AuB(株)」会社概要

社名	AuB(オーブ)株式会社	設立	2015年10月15日
資本金	413,489,305円	売上高	非公表
代表	代表取締役 鈴木啓太	スタッフ数	9人(取締役3人、従業員6人) (2021年3月時点)
共同研究	香川大学、至学館大学など	所在地	東京都中央区銀座7-13-6
事業内容	腸内細菌解析事業、コンディショニングサポート事業、フードテック事業		
電話	03-4455-2139	HP	https://aub.co.jp/

報道各位からのお問合せ先

AuB 広報事務局((株)Clover PR 内) 担当:福本、角田(つのだ)、澤本

tel.03-6452-5220 mail:cloverpr@cloverpr.net 070-6466-6062(福本) 070-2834-3177(角田)

元浦和レッズ・サッカー日本代表の鈴木啓太が社長

AuBは2015年10月創業の、アスリートの腸内細菌を研究する企業です。代表取締役の鈴木啓太は、サッカーJリーグチームである浦和レッドダイヤモンズのプロ選手(2000.1-2016.1)で、日本代表(A代表)でも活躍した、元トップアスリートです。

鈴木は、栄養士の母親に幼少の頃から「人間は腸が一番大事」「便を見なさい」と言われ、育ちます。腸内環境の重要性をいち早く認識し、現役時代からお腹でコンディショニングを整えてきました。

「茶色いダイヤ」と注目の便、集めた数はアスリート 700 人超

スポーツ界の人脈を生かして集めた便の数は現在、選手 700 人分を越え、その検体数は 1400 を突破しています(2020.4 時点)。選手は、オリンピックの金メダリストをはじめ、海外の一流クラブや Jリーグに所属するサッカー選手、プロ野球選手など、超のつくトップアスリートが多数並びます。競技はサッカーやラグビー、陸上など、28 種に及びます。

収集した便から DNA を採取し、腸内細菌の集団(腸内フローラ)を解析して、そのデータをもとに各大学など研究機関と、腸内フローラがヒトにもたらす効果を解明する研究を進めています。

腸内細菌を調べて選手をサポート、筋肉がつく腸内環境を作る助言

協力してくれる選手には、各人の腸内フローラの状況(腸内細菌の種類と数、構成等)をレポートで報告し、AuBの管理栄養士が腸内環境の改善を意識した食生活をアドバイスします。

年間を通じて腸内環境を定期的に調べながら、コンディション維持をサポートする選手も抱えます。

例えば、「プロテインを摂取しているが、筋肉が付きにくい」という課題を持つ選手がいます。そう悩む選手は意外と多く、食事調査や血液検査、尿検査をしても原因がわかりません。しかし、腸内環境を見ると、筋肉のつきにくい選手は、「腸内細菌の多様性(種類やバランス)」と「筋肉の形成にかかわる菌の数」が低く、「菌の構成が栄養を吸収しにくい状況」にあります。そうした選手には、管理栄養士が、筋肉のつきやすい腸内環境をつくる食事指導をします。そうして、実際に筋肉をつけた選手もおり、実績を積んでいます。

大正製薬から 3 億円の資金調達、「フードテック事業」に注力

2019年初夏には、大正製薬(株)と三菱UFJキャピタル(株)、個人投資家を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約3億円を調達することに成功します(同年9月に発表)。

そして現在、「フードテック事業」に注力しています。これまでの研究で、ヒトの腸内の健康度合いは「酪酸菌の多さ」がカギを握ることを明らかにし、合わせて「菌の多様性(種類の豊富さ)」が重要な役割を果たすことを確認しています。

「フードテック事業」では、その知見を生かして、酪酸菌をメインに、29種類の菌を配合した「アスリート菌ミックス」を開発。同菌ミックスをベースとした第一弾商品となるサプリメント「AuB BASE(オーブ ベース)」を、2019年12月16日(月)から発売しています。また、フードテック第二弾商品として、体づくりに必要なタンパク質2種を主原料に、「アスリート菌ミックス」と、豊富な栄養素も配合した、腸内環境を整えるプロテイン「AuB MAKE(オーブ メイク)」を2021年1月14日(木)に新発売しています。

報道各位からのお問合せ先

AuB 広報事務局((株)Clover PR 内) 担当:福本、角田(つのだ)、澤本

tel.03-6452-5220 mail:cloverpr@cloverpr.net

070-6466-6062(福本) / 070-2834-3177(角田)